

2024年3月14日

各位

会社名 株式会社レナサイエンス
代表者名 代表取締役社長 内藤 幸嗣
(コード：4889 東証グロース)
問合せ先 管理部
(TEL. 03-6262-0873)

ニプロ株式会社との共同開発契約締結のお知らせ

当社は、2021年5月にニプロ株式会社（以下「ニプロ」）との間で共同研究契約を締結し、「慢性透析患者の透析治療時における除水量などの最適値を予測する人工知能（AI）を活用したプログラム医療機器（SaMD）」を開発しています。本 SaMD（ソフトウェア）の基本的な研究開発が終了したため、事業化に向けて本ソフトウェアを医療現場で稼働させるためのシステム開発を行うための共同開発契約を別途締結しましたので、お知らせします。

1. 契約の経緯等

当社は、これまで、東北大学、NEC 及び NEC ソリューションイノベータ（NES）と共同で、「慢性透析患者の透析治療時における除水量などの最適値を予測する人工知能（AI）を活用したプログラム医療機器（SaMD）」を開発してきました。ニプロとは、2021年5月に、血液透析 AI 開発に関する共同研究契約を締結し、2022年5月には共同研究契約変更覚書を締結し、共同研究期間を延長しました。本 SaMD（ソフトウェア）の基本的な研究開発が終了したため、事業化に向けて本ソフトウェアを医療現場で稼働させるためのシステムの開発を行うための共同開発契約をニプロと別途締結しました。今後、NES と共同でシステム開発に取り組みます。

2. 今後の見通し

当社はニプロから、本契約締結に係る契約一時金として3千万円を受領予定です。当該契約一時金については、全額、2024年3月期第4四半期の収益として計上される予定です。

3. 共同研究の相手先の概要

(1) 名称	ニプロ株式会社
(2) 所在地	大阪府摂津市千里丘新町3番26号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 佐野 嘉彦
(4) 事業内容	医療機器、医薬品および医療用硝子製品等の製造販売
(5) 資本金	84,397百万円
(6) 設立年月日	1954年7月8日
(7) 大株主及び持株比率 (2023年9月末現在)	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) (13.06%) 日本電気硝子株式会社 (10.47%) 株式会社日本カストディ銀行(信託口) (7.03%) JP MORGAN CHASE BANK 385632 (2.91%) ニプロ従業員持株会 (1.61%) 佐野 和美 (1.17%)

	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 (1.07%) JP MORGAN CHASE BANK 385781 (0.99%) THE BANK OF NEW YORK MELLON 140041 (0.88%) STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 (0.80%) ※持株比率は、自己株式(7,763千株)を控除して計算しております。		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	なし	
	人的関係	なし	
	取引関係	2021年5月17日付共同研究契約締結(血中透析中の低血圧を予測する人工知能(AI)アルゴリズム開発) 2022年5月26日付、同変更契約覚書締結	
	関連当事者への該当状況	なし	
(9) 当該会社の最近3年間の連結財政状態及び連結経営成績			
決算期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
連結純資産	174,053百万円	199,867百万円	242,173百万円
連結総資産	854,396百万円	930,321百万円	1,027,399百万円
1株当たり連結純資産	987.30円	1,135.76円	1,265.00円
連結売上高	455,559百万円	494,789百万円	545,199百万円
連結営業利益	27,627百万円	23,882百万円	17,729百万円
連結経常利益	26,269百万円	27,583百万円	15,346百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	14,209百万円	13,455百万円	4,574百万円
1株当たり連結当期純利益	87.12円	82.50円	28.05円
1株当たり配当金	28.00円	27.00円	22.00円

以上

【ご参考：本適時開示に関するQA】

Q1：東レ・メディカル株式会社との共同研究との違いは？

2023年12月8日にお知らせしましたように、当社は、東レ・メディカル株式会社と維持血液透析患者に最適な治療を提供するAI搭載型血液透析医療機器に関する共同開発契約を締結しました。これは、透析機器組込型のAIを開発する共同研究であり、今回のソフトウェアを主体とするプログラム医療機器(SaMD)とは異なる研究開発です。

Q2：2021年5月にニプロ株式会社との間で締結した共同研究契約との違いは？

2021年5月の契約は、基本となるAIの研究開発に関わる契約です。今般、本AIの基本的な研究開発が終了したので、事業化に向けて本SaMD(ソフトウェア)を医療現場で稼働させるためのシステムの開発を行うための共同開発契約をニプロと別途締結しました。